令和7（2025）年度　とちぎネットアンケート結果

第6回　　「気候変動対策に関する意識調査」

1　調査目的

気候変動対策について、県民の認知度・意識等を把握し、今後の施策に反映させるため本調査を実施します。

2　調査概要

(1) 調査対象者

856名　（とちぎネットアンケート協力者）

(2) 調査期間

令和7（2025）年8月19日～9月1日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3　回答者属性

回答数　545 名（回答率63.7%）

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	223	40.9 %
女性	317	58.2 %
未回答	5	0.9 %
計	545	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	10	1.8 %
30代	33	6.1 %
40代	145	26.6 %
50代	141	25.9 %
60代	137	25.1 %
70代以上	79	14.5 %
計	545	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	271	49.7 %
県南	155	28.4 %
県北	119	21.8 %
計	545	

（注）

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率（%）で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

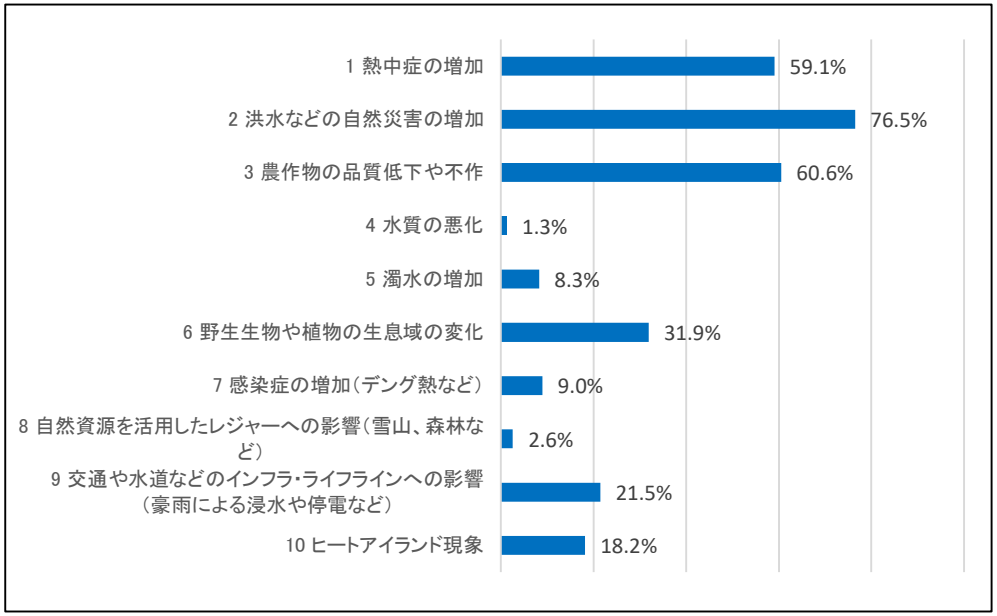
4 調査結果

問1 あなたが強く感じている気候変動のよる影響は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

（3つまで回答可）

	構成比	回答数
1 熱中症の増加	59.1%	322
2 洪水などの自然災害の増加	76.5%	417
3 農作物の品質低下や不作	60.6%	330
4 水質の悪化	1.3%	7
5 濁水の増加	8.3%	45
6 野生生物や植物の生息域の変化	31.9%	174
7 感染症の増加（デング熱など）	9.0%	49
8 自然資源を活用したレジャーへの影響（雪山、森林など）	2.6%	14
9 交通や水道などのインフラ・ライフラインへの影響（豪雨による浸水や停電など）	21.5%	117
10 ヒートアイランド現象	18.2%	99

（ n = 545 ）

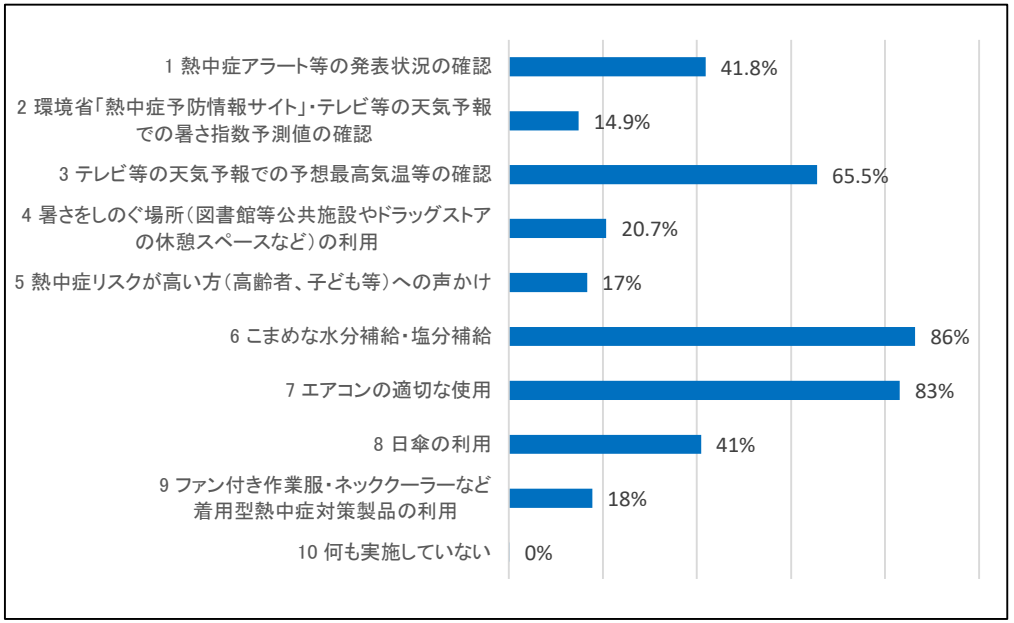


問2 あなたが実施している熱中症対策は何ですか。

（複数回答可）

	構成比	回答数
1 熱中症アラート等の発表状況の確認	41.8%	228
2 環境省「熱中症予防情報サイト」・テレビ等の天気予報での暑さ指数予測値の確認	14.9%	81
3 テレビ等の天気予報での予想最高気温等の確認	65.5%	357
4 暑さをしのぐ場所（図書館等公共施設やドラッグストアの休憩スペースなど）の利用	20.7%	113
5 熱中症リスクが高い方（高齢者、子ども等）への声かけ	17%	91
6 こまめな水分補給・塩分補給	86%	471
7 エアコンの適切な使用	83%	453
8 日傘の利用	41%	223
9 ファン付き作業服・ネッククーラーなど着用型熱中症対策製品の利用	18%	97
10 何も実施していない	0%	1

（ n = 545 ）



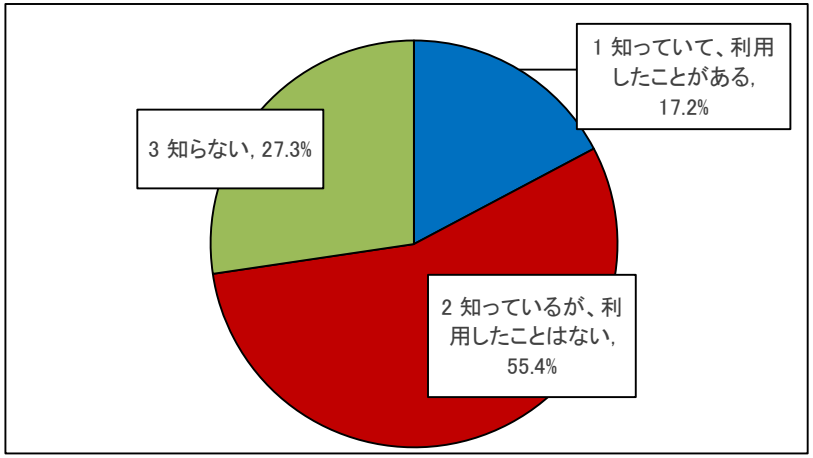
問3 暑さをしのぐ場所として、誰でも利用できるクーリングシェルター（※）があることを知っていますか。

※クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）とは、冷房設備のある誰でも利用できる施設のことで、
県内の全25市町で合計757箇所（R7.7.3時点）が指定されている（県、各市町のHPで場所や利用可能時間等の確認が可能）

（1つ回答）

	構成比	回答数
1 知っていて、利用したことがある	17.2%	94
2 知っているが、利用したことはない	55.4%	302
3 知らない	27.3%	149

（ n = 545 ）

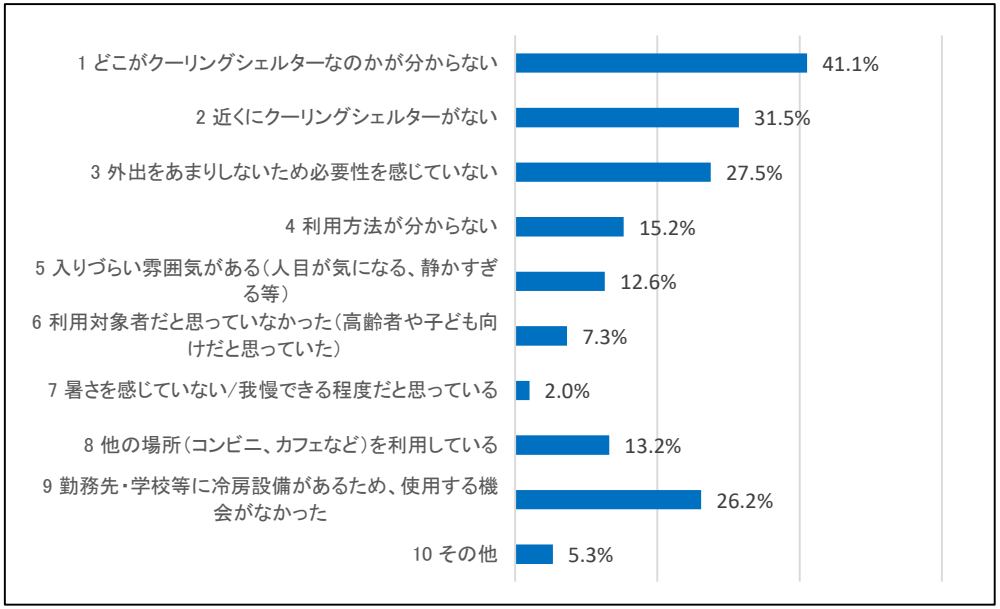


問4 問3で「2知っているが、利用したことはない」を選択された方にお聞きします。あなたがクーリングシェルターを利用しなかった理由は何ですか。

（複数回答可）

	構成比	回答数
1 どこがクーリングシェルターなのかが分からない	41.1%	124
2 近くにクーリングシェルターがない	31.5%	95
3 外出をあまりしないため必要性を感じていない	27.5%	83
4 利用方法が分からない	15.2%	46
5 入りづらい雰囲気がある（人目が気になる、静かすぎる等）	12.6%	38
6 利用対象者だと思っていなかった（高齢者や子ども向けだと思っていた）	7.3%	22
7 暑さを感じていない/我慢できる程度だと思っている	2.0%	6
8 他の場所（コンビニ、カフェなど）を利用している	13.2%	40
9 勤務先・学校等に冷房設備があるため、使用する機会がなかった	26.2%	79
10 その他	5.3%	16

（ n = 302 ）



【その他の主な意見】

・ 外に出る時は、短時間にしている／車移動が多いため車内で過ごすことが多い

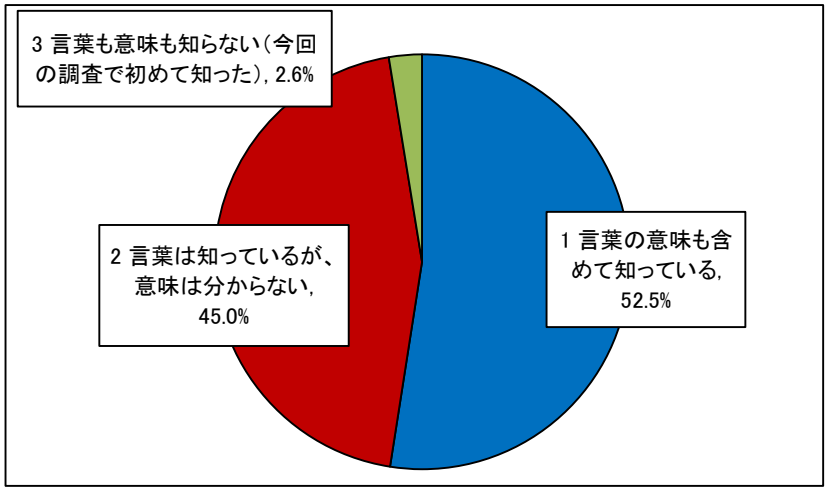
問5　あなたは、温室効果ガスの排出抑制に関する長期的な目標である「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

※カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、温室効果ガス排出量を実質的にゼロにする考え方。

（1つ回答）

	構成比	回答数
1　言葉の意味も含めて知っている	52.5%	286
2　言葉は知っているが、意味は分からない	45.0%	245
3　言葉も意味も知らない（今回の調査で初めて知った）	2.6%	14

（　n　=　545　）

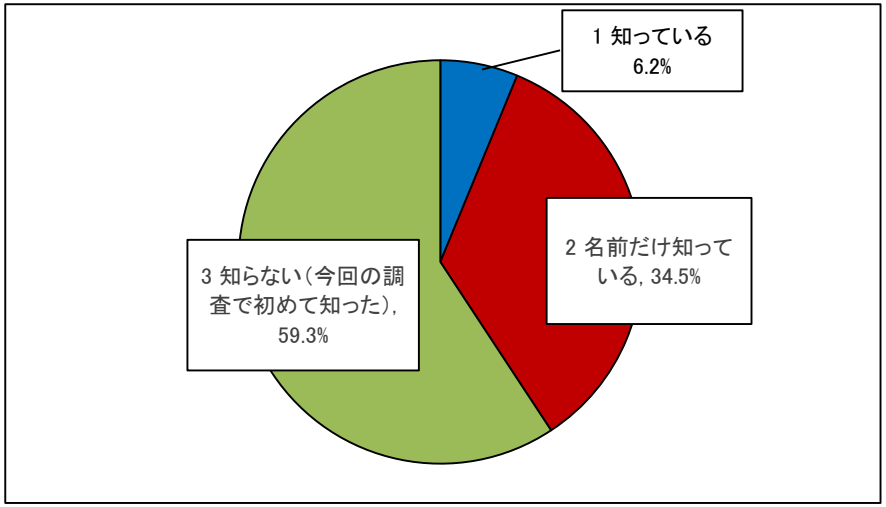


問6　栃木県では、2050年カーボンニュートラル実現に向けて作成したロードマップ（行程表）において、2030年度までに温室効果ガス50%削減という目標を定めたこと等を踏まえ、これまでの取り組みを強化し、脱炭素を軸とする新たな県民運動「とちぎカーボンニュートラル15（いちご）アクション県民運動」を始めたのを知っていますか。

（1つ回答）

	構成比	回答数
1　15の脱炭素行動があることを含めて知っている	6.2%	34
2　名前だけ知っている	34.5%	188
3　知らない（今回の調査で初めて知った）	59.3%	323

（　n　=　545　）



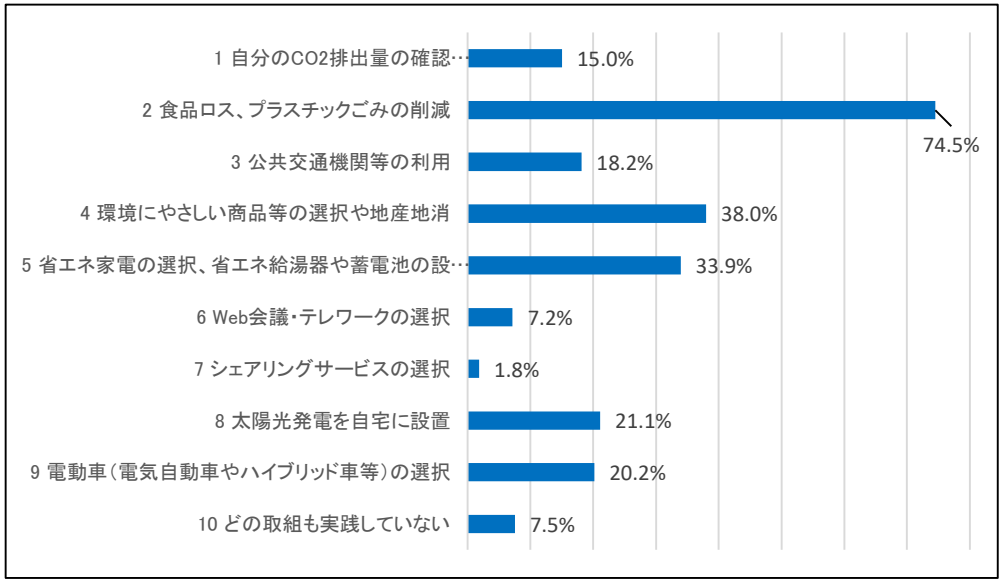
問7 温室効果ガス排出量削減のための取組（※）として、あなたが実践している取組は次のどれですか。

※選択肢の項目は、「とちぎカーボンニュートラル15アクション県民運動」における15の脱炭素行動「15（いちご）アクション」から記載しています。

（複数回答可）

		構成比	回答数
1	自分のCO2排出量の確認 （電気・ガスの使用量の明細やアプリ等で確認）	15.0%	82
2	食品ロス、プラスチックごみの削減	74.5%	406
3	公共交通機関等の利用	18.2%	99
4	環境にやさしい商品等の選択や地産地消	38.0%	207
5	省エネ家電の選択、省エネ給湯器や蓄電池の設置、当断熱化等	33.9%	185
6	Web会議・テレワークの選択	7.2%	39
7	シェアリングサービスの選択	1.8%	10
8	太陽光発電を自宅に設置	21.1%	115
9	電動車（電気自動車やハイブリッド車等）の選択	20.2%	110
10	どの取組も実践していない	7.5%	41

（ n = 545 ）



問8 温室効果ガス排出量削減のための取組（※）として、あなたがやってみたい取組は次のどれですか。

※選択肢の項目は、「とちぎカーボンニュートラル15アクション県民運動」における15の脱炭素行動「15（いちご）アクション」から記載しています。

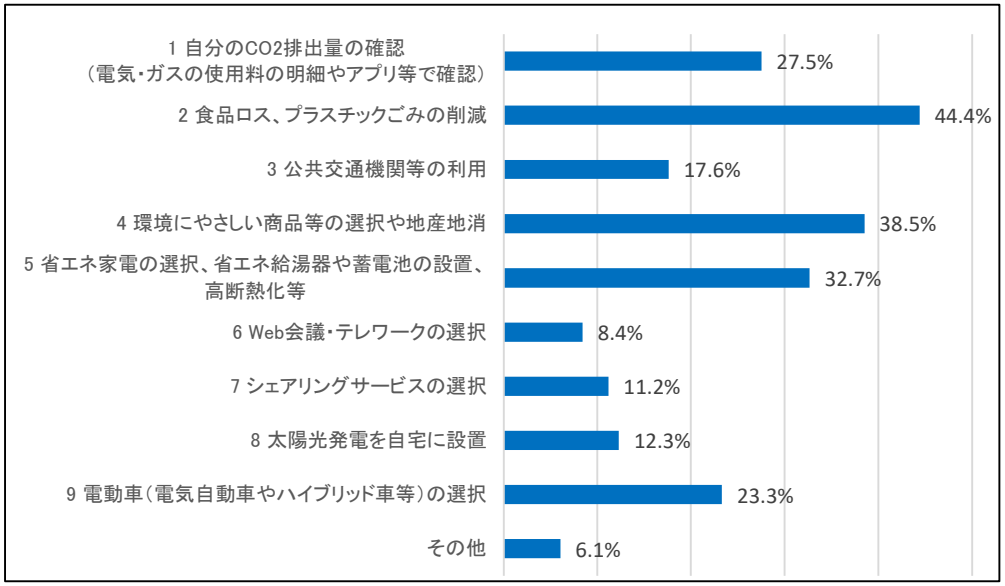
（複数回答可）

		構成比	回答数
1	自分のCO2排出量の確認 （電気・ガスの使用料の明細やアプリ等で確認）	27.5%	150
2	食品ロス、プラスチックごみの削減	44.4%	242
3	公共交通機関等の利用	17.6%	96
4	環境にやさしい商品等の選択や地産地消	38.5%	210
5	省エネ家電の選択、省エネ給湯器や蓄電池の設置、高断熱化等	32.7%	178
6	Web会議・テレワークの選択	8.4%	46
7	シェアリングサービスの選択	11.2%	61
8	太陽光発電を自宅に設置	12.3%	67
9	電動車（電気自動車やハイブリッド車等）の選択	23.3%	127
	その他	6.1%	33

（ n = 545 ）

【その他の主な意見】

- 近くへの移動を自転車で行う／・家族・友人・知人に取り組める行動を伝えること
- 森林を増やす植樹体験



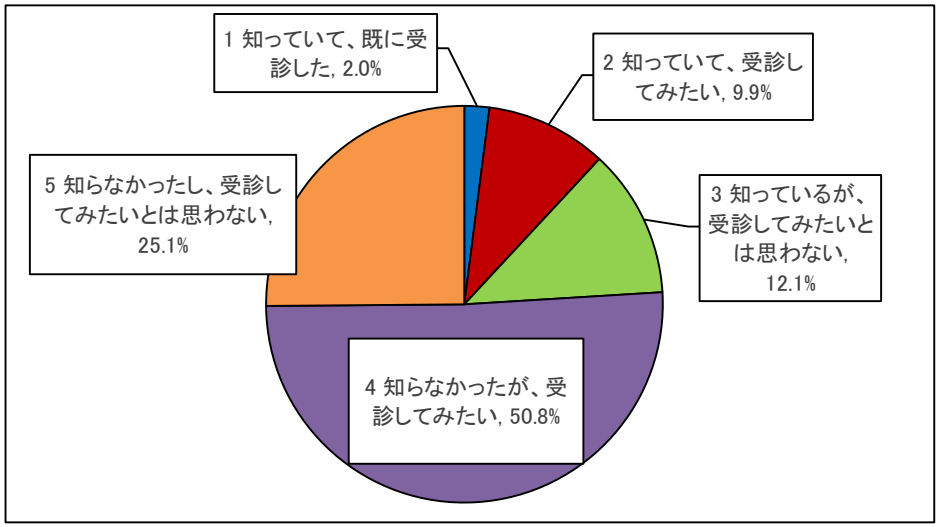
問9 各家庭の光熱費やエネルギー使用量などの情報を元に、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ・省CO2対策を提案する「うちエコ診断（※）」を知っていますか。

※環境省の公的資格を持った「うちエコ診断士」が、専用ソフトを使い、各家庭のエネルギー使用状況を「見える化」し、効果的な省エネ・省CO2対策を提案するとともに、対策を実施した場合の「光熱費の削減額」などをわかりやすく示すもの。

（1つ回答可）

	構成比	回答数
1 知っていて、既に受診した	2.0%	11
2 知っていて、受診してみたい	9.9%	54
3 知っているが、受診してみたいとは思わない	12.1%	66
4 知らなかったが、受診してみたい	50.8%	277
5 知らなかったし、受診してみたいとは思わない	25.1%	137

（ n = 545 ）

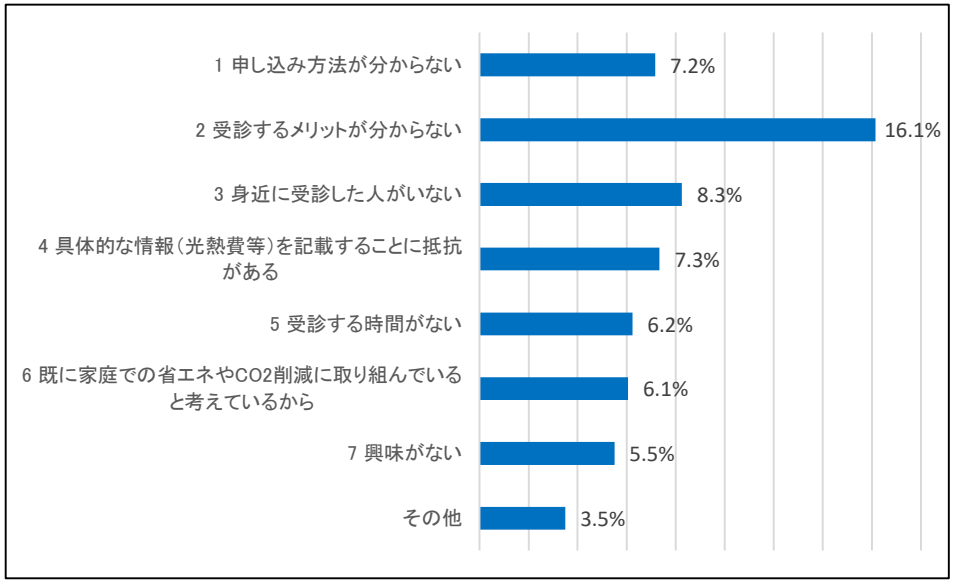


問10 問9で3と5を選んだ方に伺います。うちエコ診断を受けてみたいとは思わない理由は何ですか。

（複数回答可）

	構成比	回答数
1 申し込み方法が分からない	7.2%	39
2 受診するメリットが分からない	16.1%	88
3 身近に受診した人がいない	8.3%	45
4 具体的な情報（光熱費等）を記載することに抵抗がある	7.3%	40
5 受診する時間がない	6.2%	34
6 既に家庭での省エネやCO2削減に取り組んでいると考えているから	6.1%	33
7 興味がない	5.5%	30
その他	3.5%	19

（ n = 545 ）



【その他の主な意見】

- 解決法があってもお金がかかりそうだから
- 自己でできる範囲で実施している

【自由意見】

- 昔より気温が高くなり、水害が多くなった印象を持ちます。世の中が便利になっていく毎に地球全体の生態系が崩れていく感覚を持っています。
- 問9の受診希望はどこに連絡すればいいのですか？
- 様々な取り組みがいろいろな角度で紹介されているが、今までやってきている中で環境負荷の大きなことや、ダメなことを認識させることも紹介することで、まず、最低でも現状維持ができるのではないかと思います。